

2025 年度第 1 回総合事業サービスワーキンググループにおける主なご意見 (2026 年 1 月 15 日開催)

1. 介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況報告

内容：総合事業の直近の実施状況等について報告を行った。

(訪問サービスについて)

- ・訪問サービスの利用実績が減少傾向であることについて、需要が減っているのか、供給ができないのか。
- ・供給ができないということであれば、何らかの事業所へのサポートが必要ではないか。
- ・在宅高齢者の身体介護の需要が増えている一方で、事業者の新規参入は難しい状況。その中で生活支援を必要とする方をどう支えるか、その担い手の確保は非常に重要である。
- ・神戸市主催の生活支援訪問サービス従事者養成研修の修了生のマッチングで、ここ 1 年の間に、そこを修了した・やってみたいという人が応募してきたケースはあった。
- ・総合事業の効果を検証して、維持・改善できているという結果ができれば、事業者のモチベーションも上がるのではないか。

→ (事務局)

- ・高齢者数の増加や現場の意見から、供給が追い付いていないのではないかと考えている。
- ・生活支援訪問サービスについて、従事者を養成することで安定的なサービス提供につなげたいと考えており、今年度より、採用後の早期離職対策として、事業者の協力のもと、就労前の職場体験を実施している。今後も効果的な支援を検討していきたい。
- ・十分効果検証できていないことについては課題だと感じている。

(介護予防通所サービスの時間短縮型について)

- ・給付費抑制の効果が出ているので、今後もっと効果のある方法を検討してさらに支出抑制できるようにしてはどうか。

2. 2040 年に向けたサービス提供体制等のあり方検討会について

内容：国の 2040 年に向けたサービス提供体制等のあり方に関する検討会の内容について報告を行った。

- ・高齢者だけでなく、障害者や子どもも含めた多世代型・介護付きシェアハウスなどが注目を浴びている。
- ・多様な地域課題を、まとめて垣根なく考えていこうという方向性にあるのではないか。

3. 神戸市介護予防・日常生活支援総合事業「新たな通所型サービス」について (サービス・活動 A の新設)

内容：神戸市介護予防・日常生活支援総合事業で新設する通所型サービス・活動 A の内容案について説明した。

- ・他のサービスとの利用者の振り分けや、新たな通所サービスでの神戸市の目指すところの周知が重要。
- ・新たな介護予防・フレイル対策のメニューを考案するにあたっては、あんしんすこやかセンターからアイデアを募るのも効果的ではないか。

→ (事務局)

- ・仕様や、利用者の振り分け基準について、いただいたご意見を踏まえつつ、検討をすすめて参りたい。